



平成 21 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 8 月 25 日

会社名 チッソ株式会社
 コード番号 4006
 代表者 代表取締役会長 後藤 舜吉
 問合せ先責任者 総務部主席 堀尾 俊也
 グリーンシート銘柄
 URL <http://www.chisso.co.jp>
 TEL (03)3243 - 6370

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	71,555	13.7	3,655	12.7	3,748	21.2	1,637	27.4
20 年 3 月期第 1 四半期	62,941	41.7	4,185	15.1	4,756	22.2	2,255	20.6
20 年 3 月期	269,687	-	20,818	-	20,181	-	10,817	-

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	10 50	-
20 年 3 月期第 1 四半期	14 46	-
20 年 3 月期	69 37	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	208,847	97,262	48.2	623 99
20 年 3 月期第 1 四半期	203,889	107,222	54.0	687 56
20 年 3 月期	213,754	99,077	47.7	654 07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	水俣病補償による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
21 年 3 月期第 1 四半期	3,821	1,915	835	563	20,742
20 年 3 月期第 1 四半期	2,407	3,019	69	600	22,129
20 年 3 月期	11,937	11,720	2,916	5,883	20,134

2. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期連結 累計期間	140,000	6.6	10,000	4.3	5,000	5.2	32 07
通 期	300,000	11.2	22,000	9.0	11,500	6.3	73 76

(注) 平成 20 年 5 月 15 日に公表しました業績予想については現時点で変更はございません。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰により、企業収益が減少し、設備投資が鈍化するなど減速感を強めており、米国の景気動向等によっては、今後、さらに景気が下ぶれることも想定されます。

当社グループにおきましては、化学品事業セグメントでは、液晶等、機能材料分野の出荷は総じて堅調に推移する一方、化学品分野では引き続き製品価格の是正に努めました。

その他の事業セグメントでは、エンジニアリング部門は受注高、売上高ともに減少しましたが、商事部門は売上高が増加しました。

これらの結果、当社グループの売上高は71,555百万円（前年同期比13.7%増）となりましたが、営業利益は3,655百万円（前年同期比12.7%減）、経常利益は3,748百万円（前年同期比21.2%減）となりました。特別損益におきまして水俣病補償損失等1,090百万円を特別損失として計上した結果、当第1四半期は1,637百万円の純利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は前年同期に比べ4,958百万円増加し、208,847百万円となりました。

また、純資産は、97,262百万円となりました。

当第1四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比較して608百万円増加しました。

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは、3,821百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益及び減価償却費によるものです。
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは、1,915百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローは、835百万円の支出となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の返済によるものです。
- ・ 水俣病補償によるキャッシュ・フローは、563百万円の支出となりました。これは主に水俣病患者に対する補償金の支払によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の実績見通しにつきましては、平成20年5月15日に発表しました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規：1社 社名：大阪樹脂化工(株)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

本四半期決算の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正をおこなっておりません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・ たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

・ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度

委員会(平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成20年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
流動資産	110,783	111,823	1,040	0.9	119,124
固定資産	97,982	91,969	6,013	6.5	94,548
繰延資産	81	96	15	15.6	81
資産合計	208,847	203,889	4,958	2.4	213,754
(負債の部)					
流動負債	98,669	107,638	8,969	8.3	107,027
固定負債	207,439	203,473	3,966	1.9	205,803
負債合計	306,109	311,112	5,003	1.6	312,831
(純資産の部)					
株主資本	107,057	117,196	10,139	-	108,637
評価・換算差額等	6,333	7,117	784	11.0	6,676
少数株主持分	3,462	2,855	607	21.3	2,884
純資産合計	97,262	107,222	9,960	-	99,077
負債 純資産合計	208,847	203,889	4,958	2.4	213,754

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成20年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
売上高	71,555	62,941	8,614	13.7	269,687
売上原価	61,891	53,043	8,848	16.7	225,718
売上総利益	9,663	9,897	234	2.4	43,968
販売費及び 一般管理費	6,007	5,712	295	5.2	23,150
営業利益	3,655	4,185	530	12.7	20,818
営業外収益	818	1,138	320	28.1	2,174
営業外費用	726	568	158	27.8	2,811
経常利益	3,748	4,756	1,008	21.2	20,181
特別利益	-	415	415	100.0	499
特別損失	1,090	1,175	85	7.2	4,974
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,657	3,995	1,338	33.5	15,706
税金費用	739	1,527	788	51.6	4,634
少数株主利益	281	212	69	32.5	254
四半期(当期)純利益	1,637	2,255	618	27.4	10,817

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前年度 平成20年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,657	3,995	15,706
減価償却費	2,118	1,432	7,279
売上債権の減少額	9,715	2,057	6,568
たな卸資産の減少額	1,571	2,328	3,929
仕入債務の増加額	10,201	2,790	2,485
その他	2,040	502	1,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,821	2,407	11,937
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,915	3,019	11,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	835	69	2,916
水保病補償によるキャッシュ・フロー	563	600	5,883
現金及び現金同等物に係る換算差額	373	53	441
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	134	1,196	3,191
現金及び現金同等物の期首残高	20,134	23,325	23,325
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	473	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	20,742	22,129	20,134